



# 戻ってきた歌声、弾ける笑顔

## 地域との絆をいつまでも大切に

弊社は群馬で創業し、全国展開するアミューズメント施設「D'ステーション」をはじめ、フィットネス、フェンシングクラブ、温浴施設、飲食などを運営しております。社名の「NEXUS」の由来の通り、1995年に沼田市でのD'ステーション1号店の創業以来、お客さまや地域との「絆」を強めることで、地域社会に愛される店舗運営を志し、地道な企業活動を続けて参りました。おかげさまで弊社の中核事業のD'ステーションは全国68店舗まで拡大し、本年7月からは新事業となる「アッシュアンパサンド」(24hジム)を順次6店舗オープンさせていくことができました。これもひとえに皆さまのご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

同時に、各地域において企業の社会的責任として、創業以来、スポーツ振興や地域振興、広域社会福祉の分野でさまざまな社会貢献に力を注ぎ、これらを発展させたSDGs活動への取り組みとして継続させております。スポーツの分野では、日本フェンシングの支援に深く関わり、2009年に「NEXUSフェンシングチーム」を創設。2020東京五輪では弊社所属の見延和靖選手が男子エペ団体チームをけん引し、金メダル獲得の快挙を成し遂げました。日本のフェンシング界にとって初の金メダルでした。今後もフェンシング界のさらなる発展のため尽力して参ります。

10年からはモータースポーツの支援も始め、17年に「D' station Racing」を創設以降は国内自動車レースに本格参戦し、優秀な成績を収めて参りました。現在では活動の場を海外に広げ、ル・マン24時間レースに代表されるFIA世界耐久選手権(WEC)シリーズや、アジア・ル・マン・シリーズなど世界的に有名なレースにも挑戦しております。24年シーズンは、国内最高峰のレースであるスーパーGTにも復帰します。

そして、文化芸術活動支援の一環として群馬交響楽団さまの演奏でクリスマスにクラシック音楽を気軽に楽しんでもらおうと13年に始めたのが、このアットホームコンサートです。毎年、大勢の人に喜んでいただき、今年で10回目の記念開催となりました。コロナ禍の不安を乗り越え、地域の皆さまとの絆を強める場をお届けできたことを本年も心よりうれしく思います。

関わる人すべてが笑顔になれるよう「幸福度No.1企業」を目指し、これからも県民の皆さまと共に喜びや楽しみ、成長を続けていけるよう関係者の皆さまに御礼を申し上げます。

NEXUS株式会社 取締役 社長執行役員 星野 正史



近年では世界有数のフェンシング強国へと成長し、日本代表の見延(中央)、敷根(左)、永野(右)を輩出するネクサスフェンシングクラブ



日本最高峰プライベートルームへと成長し、世界水準の活動を継続し、毎年夏にはキッズ職業体験にも取り組む



青島広志さんの話 コロナが明け、クリスマスの贈り物らしい「一緒に歌える楽しいコンサート」が戻ってきました。このうれしさと喜びを「おめでたい音楽」で表し、幅広い世代のお客さまに楽しんでいただけたような構成になりました。群馬交響楽団との演奏で、皆さんが最高に幸せな気分になったらうれしいです。

作曲家、指揮者の青島広志さんと群馬交響楽団による「第10回アットホームコンサート クリスマスの贈りもの」(上毛新聞社主催、NEXUS特別協賛)が25日、高崎芸術劇場大劇場で開かれた。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って4年ぶりに観客との合唱が戻り、約1900人がクリスマスの夜のコンサートを満喫した。

## クリスマスの贈りもの 第10回アットホームコンサート

### 1万人超が応募

同コンサートは本格的なクラシック音楽を気軽に楽しんでもらおうと2013年に始まり、毎年観客を無料招待している。今年も子どもから高齢者まで1万人を超える応募があり、抽選で選ばれた約1900人が来場した。

初回から指揮や構成を担当するのは「題名のない音楽会」や「世界一受けたい授業」などのテレビ番組で知られる青島さん。毎回工夫を凝らした企画で観客との一体感を演出している。

### おめでたい曲スラリ

今年のテーマは「おめでたい音楽ばかり!!」制限のあったコロナ禍の生活からほほ日常を取り戻したことから、ときめくような曲

### 観客全員と合唱

第2部は、オプフェン

バックの喜劇劇「天国と地獄」の序曲が始まった。青島さんが「聞き覚え」と語り、その後は、コンサートマスターの福田一郎さんによるソング演奏、バイオリンの細かな音色で観客を魅了した。

続いてあでやかな緑色のドレスに身を包んだソプラノ歌手の横山美奈さんが踊りながら登場。青島さんがこの日のために管弦楽版として編曲したアルディティの「マドリガレ」で美しい高音を響かせると、観客はスタンディングオベーションで応えた。レハールの喜劇「メリ・ウィドウ」の「唇は熱くても」では、テノール歌手の小野勉さんと横山さんが息の合った歌声とワルツを披露。観客もハミングで参加した。



「10回目の応募で初めて当選した」という姉の岡田玲子さん(84)と高崎市と訪れた赤羽洋子さん(80)は「おめでたい曲ばかり」といって楽しんでいる。青島さんの話も楽しく、会場全体がタイトル通りのアットホームな雰囲気になっていったと堪能した様子だった。



小野勉さん・横山美奈さんの話 アットホームコンサートでは1回目に出演以来のジョイントです。衣装の色をクリスマスカラーで合わせたり、アイテムを使ったりして雰囲気盛り上げました。高崎芸術劇場は素晴らしいホールですね。クリスマスの夜、一緒に楽しい気持ち共有できたことを幸せに感じています。

### 音響き追力満点

家族5人で訪れた高崎市の中島洋さん(47)一家は

「聞いたことのある曲を、生で聞けたらうれしい。後ろの方の席だったが、音が響いて迫力満点だった。親子で楽しめた。笑顔で話した。クラシックが大好きな祖母の木下幸子さん(69)と大泉町と訪れた阿部真由さん(7)は「最近クラシックに興味を持ち始めたので、いろいろな楽器が間近で見られて面白かった」と満足を語った。

高崎商大附吹奏楽部 ボランティアで活躍

会場の運営には、今年も高崎商科大学附属高校吹奏楽部の有志12人がボランティアで協力した。来場者を温かく出迎え、受け付けでプログラムを配ったり、終了後はアンケートを回収したりしてコンサートを支えた。部長の倉林くるみさん(17)は「憧れの先輩に関われることは誇り。お客さまが気分よくコンサートを迎え、終了後はその余韻に浸れるように、と願いながら手伝いをしました」と話していた。

主催 上毛新聞社

本コンサート開催に当たり、多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

特別協賛 Amusement & Amenity NEXUS

本コンサートへのご参加ありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。

NEXUSグループはアットホームコンサートを通じて、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS